



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社オプティマスグループ 上場取引所 東
 コード番号 9268 URL https://www.optimusgroup.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 信哉
 問合せ先責任者 (役職名) 総務・IRユニット長 (氏名) 足立 敢 TEL 03 (3456) 1764
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,672	△26.9	△159	—	38	△71.9	△113	—
2020年3月期第2四半期	11,868	△8.5	267	△46.9	138	△74.4	88	△73.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 478百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △599百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△25.63	—
2020年3月期第2四半期	17.84	—

(注) 2020年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。2021年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,702	9,728	41.0
2020年3月期	23,854	9,360	39.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,728百万円 2020年3月期 9,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	23.00	—	25.00	48.00
2021年3月期	—	14.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	16.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	△18.9	350	△73.5	500	△57.3	200	△72.0	45.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日（2020年11月13日）公表いたしました「2021年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	5,353,045株	2020年3月期	5,353,045株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	941,556株	2020年3月期	941,556株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	4,411,489株	2020年3月期2Q	4,981,317株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行により大きく落ちこんだ第1四半期ほどではないものの、引き続き主要国で経済規模がコロナ禍以前を下回る状況が続き、各国の金融緩和と財政出動が下支えしています。収束が見えないCOVID-19や、米中の経済制裁を含む対立により不透明感が強まっております。

アメリカ経済は、雇用環境、政治日程の影響で追加の財政支援が固まらないことが経済の重しとなっています。中国経済は、IMFは2020年にプラス成長を見込んでいますが、今年の6%台には及びません。ニュージーランド経済は、迅速なCOVID-19対策と財政出動、並びに中央銀行による過去最低の0.25%への利下げ等で下支えを図ってきましたが、2020年の実質経済成長率は-6.1%（IMF、2020年10月時点）と予想されております。

このような環境下、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）の中核事業会社である㈱日質においては、3月25日から5週間にわたりCOVID-19対策のためにニュージーランドで実施されたロックダウン（都市封鎖）、6月上旬まで続いた経済活動への制限、ニュージーランドの最大都市オークランドでの8月の再ロックダウン等により、当第2四半期連結累計期間の中古自動車販売台数は10,979台と前年同期比36.2%減少しました。

また、物流セグメントの中核事業子会社Dolphin Shipping New Zealand Limitedの輸送台数についても、前述のように中古自動車販売台数の減少を受けて11,378台と前年同期比44.8%減少となりました。

サービスセグメントにおいては、上述のような状況を受け、ニュージーランドにおける中古自動車販売子会社であるTrade Cars Limitedにおける中古自動車販売台数の減少やレンタカー事業を行う子会社Universal Rental Cars Limitedにおける稼働縮小等の影響を受けております。

検査セグメントにおいては、㈱日本輸出自動車検査センターにおけるニュージーランド向けバイオ検査（検疫）件数が20,743件（前年同期比52.9%減）となり、また、カメムシ問題（注）対応のため2018年9月より開始したバイオセキュリティ熱処理システム検査（以下「熱処理検査」）件数が7,085件（前年同期比47.2%減）と推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高86億72百万円（前年同期比26.9%減）、営業損失1億59百万円（前年同期は2億67百万円の利益）、経常利益38百万円（同71.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億13百万円（前年同期は88百万円の利益）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(貿易)

前述のとおり、3月25日から5週間にわたりCOVID-19対策のためにニュージーランドで実施されたロックダウン（都市封鎖）、6月上旬まで続いた経済活動への制限、ニュージーランドの最大都市オークランドでの8月の再ロックダウン等により、売上高は50億68百万円（前年同期比24.6%減）、セグメント損失は82百万円（前年同期は14百万円の利益）となりました。

(物流)

前述のとおり、売上高の大部分を占めるニュージーランド向けの輸送台数が減少したことにより、売上高は15億14百万円（前年同期比37.6%減）、セグメント利益は18百万円（前年同期比91.1%減）となりました。

(サービス)

前述のとおり、中古自動車販売台数の減少やレンタカー事業の稼働縮小等により、売上高は23億52百万円（前年同期比9.2%減）となりました。一方、経費見直し等により、セグメント利益は1億81百万円（前年同期は8百万円の利益）となりました。

(検査)

前述のとおり、ニュージーランド向けバイオ検査（検疫）件数及び熱処理検査件数が減少し、売上高は11億35百万円（前年同期比39.2%減）、セグメント損失は3億53百万円（前年同期は63百万円の利益）となりました。

（注）2018年2月にニュージーランドのオークランドに入港した日本発の自動車運搬船においてカメムシ（害虫指定のクサガカメムシ）が発見され、車両の荷揚げが制限された事象

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ1.1%減少し、190億84百万円となりました。これは主に現金及び預金が13億35百万円及びたな卸資産が5億39百万円増加した一方、売掛金が15億19百万円及び販売金融債権が2億20百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ1.4%増加し、46億18百万円となりました。これは主にレンタカー事業会社である連結子会社Universal Rental Cars Limitedを通じて行われた事業譲受により発生したのれんについて、当該連結子会社の清算が取締役会にて決議されたことを受けて当該のれん残高の全額1億28百万円が減損損失の計上により減少した一方、在外子会社保有の有形固定資産の外貨換算影響による増加等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、237億2百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ3.1%増加し、111億21百万円となりました。これは主に、短期借入金が3億34百万円及びその他流動負債が4億10百万円減少した一方、1年内返済予定の長期借入金が増加したことから、固定負債からの振替により9億91百万円増加したことによりです。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ23.1%減少し、28億52百万円となりました。これは主に1年内返済予定分の流動負債振替等により長期借入金が9億3百万円減少したことによるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3.6%減少し、139億73百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ3.9%増加し、97億28百万円となりました。これは主にニュージーランド・ドルの円安シフトにより為替換算調整勘定が5億91百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べて13億35百万円増加し、55億18百万円となりました。

当第2四半期連結結果計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結結果計期間において営業活動の結果増加した資金は22億23百万円(前年同期は5億31百万円の増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失28百万円(前年同期は税金等調整前四半期純利益1億65百万円)やたな卸資産の増加による支出4億94百万円(前年同期は2億94百万円の減少)等の減少要因があるものの、売上債権の減少16億38百万円(前年同期は6億85百万円の減少)、販売金融債権の減少5億99百万円(前年同期は12億74百万円の増加)等の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結結果計期間において投資活動の結果減少した資金は1億84百万円(前年同期は6億21百万円の減少)となりました。これは主に短期貸付金の純増額1億77百万円、有形固定資産の取得による支出1億16百万円等の減少要因と有形固定資産の売却による収入1億51百万円等の増加要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結結果計期間において財務活動の結果減少した資金は7億43百万円(前年同期は3億95百万円の減少)となりました。これは主に短期借入金の純増額5億54百万円、配当金の支払額1億10百万円等の減少要因によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月11日に公表いたしました2021年3月期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2020年11月13日)公表いたしました「2021年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,183,310	5,518,323
売掛金	6,124,204	4,604,966
販売金融債権	5,111,843	4,890,875
たな卸資産	1,193,797	1,733,000
その他	2,795,362	2,438,296
貸倒引当金	△107,213	△101,179
流動資産合計	19,301,303	19,084,284
固定資産		
有形固定資産	3,661,969	3,725,557
無形固定資産		
のれん	128,359	—
その他	180,219	206,475
無形固定資産合計	308,578	206,475
投資その他の資産		
その他	658,417	780,921
貸倒引当金	△75,954	△94,681
投資その他の資産合計	582,462	686,240
固定資産合計	4,553,010	4,618,272
資産合計	23,854,313	23,702,556
負債の部		
流動負債		
買掛金	344,603	439,908
短期借入金	8,771,530	8,436,700
1年内償還予定の社債	53,400	52,400
1年内返済予定の長期借入金	45,634	1,037,630
未払法人税等	86,519	99,337
賞与引当金	67,404	51,696
その他	1,413,848	1,003,685
流動負債合計	10,782,939	11,121,357
固定負債		
社債	25,700	—
長期借入金	3,147,910	2,244,885
退職給付に係る負債	175,320	189,140
その他	361,720	418,302
固定負債合計	3,710,650	2,852,327
負債合計	14,493,590	13,973,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	431,100	431,100
資本剰余金	1,874,458	1,874,458
利益剰余金	9,777,917	9,554,554
自己株式	△831,918	△831,918
株主資本合計	11,251,558	11,028,195
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,890,835	△1,299,324
その他の包括利益累計額合計	△1,890,835	△1,299,324
純資産合計	9,360,723	9,728,871
負債純資産合計	23,854,313	23,702,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	11,868,416	8,672,266
売上原価	9,272,091	6,912,464
売上総利益	2,596,324	1,759,801
販売費及び一般管理費	2,328,882	1,919,389
営業利益又は営業損失(△)	267,441	△159,588
営業外収益		
受取利息	31,580	30,852
為替差益	—	154,177
持分法による投資利益	6,667	9,147
その他	26,848	65,290
営業外収益合計	65,096	259,467
営業外費用		
支払利息	67,427	59,356
為替差損	120,381	—
その他	6,593	1,665
営業外費用合計	194,402	61,022
経常利益	138,136	38,856
特別利益		
固定資産売却益	17,390	23,121
関係会社清算益	—	12,402
受取和解金	22,456	22,019
特別利益合計	39,847	57,543
特別損失		
固定資産除売却損	10,983	2,759
減損損失	—	121,810
その他	1,200	—
特別損失合計	12,183	124,569
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	165,799	△28,169
法人税等	76,916	84,906
四半期純利益又は四半期純損失(△)	88,883	△113,075
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	88,883	△113,075

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	88,883	△113,075
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△686,914	591,147
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,267	363
その他の包括利益合計	△688,181	591,511
四半期包括利益	△599,298	478,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△599,298	478,435
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	165,799	△28,169
減価償却費	251,740	223,058
減損損失	—	121,810
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,956	2,388
受取利息及び受取配当金	△32,413	△31,208
支払利息	67,427	59,356
為替差損益(△は益)	181,944	△16,765
持分法による投資損益(△は益)	△6,667	△9,147
固定資産除売却損益(△は益)	△6,407	△20,362
受取和解金	△22,456	△22,019
関係会社清算損益(△は益)	—	△12,402
売上債権の増減額(△は増加)	685,727	1,638,129
販売金融債権の増減額(△は増加)	△1,274,555	599,293
たな卸資産の増減額(△は増加)	294,438	△494,228
仕入債務の増減額(△は減少)	△166,106	75,180
その他の流動資産の増減額(△は増加)	572,779	565,923
その他の流動負債の増減額(△は減少)	104,955	△424,988
その他	61,371	813
小計	880,535	2,226,661
利息及び配当金の受取額	34,193	36,529
利息の支払額	△70,016	△48,170
和解金の受取額	22,456	22,019
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△335,996	△13,909
営業活動によるキャッシュ・フロー	531,170	2,223,131
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△140,196	△116,536
有形固定資産の売却による収入	206,982	151,070
無形固定資産の取得による支出	△53,620	△46,731
事業譲受による支出	△634,788	—
関係会社の清算による収入	—	12,402
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	△177,410
長期貸付金の回収による収入	900	300
その他	△1,023	△7,711
投資活動によるキャッシュ・フロー	△621,745	△184,615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	691,556	△554,105
長期借入れによる収入	—	41,040
長期借入金の返済による支出	△55,117	△12,391
社債の償還による支出	△26,700	△26,700
自己株式の取得による支出	△771,215	—
配当金の支払額	△159,166	△110,263
その他	△75,301	△81,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	△395,945	△743,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	△173,271	40,430
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△659,791	1,335,013
現金及び現金同等物の期首残高	4,958,026	4,183,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,298,235	5,518,323

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大に伴う会計上の見積りの不確実性について)に記載した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,728,170	2,150,579	2,551,159	1,438,505	11,868,416	—	11,868,416
セグメント間の 内部売上高又は振替高	995,805	276,932	39,641	429,793	1,742,173	976,019	2,718,192
計	6,723,976	2,427,512	2,590,801	1,868,299	13,610,589	976,019	14,586,608
セグメント利益	14,740	202,963	8,455	63,049	289,209	414,118	703,328

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社及び地域を統括する中間持株会社のOptimus Group New Zealand Limited、Optimus Group Australia Pty Ltdのものであります。

2. 前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	289,209
「その他」の区分の利益	414,118
未実現利益の調整額	20,086
セグメント間取引消去	△ 455,972
四半期連結損益計算書の営業利益	267,441

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	貿易	物流	サービス	検査	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,157,314	1,314,049	2,314,643	858,577	8,644,585	27,681	8,672,266
セグメント間の 内部売上高又は振替高	911,012	200,490	38,311	277,115	1,426,929	1,045,032	2,471,961
計	5,068,326	1,514,539	2,352,955	1,135,693	10,071,514	1,072,713	11,144,228
セグメント利益又は損失 (△)	△82,461	18,016	181,978	△353,655	△236,121	487,647	251,526

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない純粋持株会社である提出会社及び地域を統括する中間持株会社のOptimus Group New Zealand Limited、Optimus Group Australia Pty Ltdのものであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△ 236,121
「その他」の区分の利益	487,647
未実現利益の調整額	36,911
セグメント間取引消去	△ 448,025
四半期連結損益計算書の営業損失	△ 159,588

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

サービスセグメントにおいて、連結子会社Universal Rental Cars Limitedを通じて行われた事業譲受により発生したのれんについて、当該連結子会社の清算が取締役会にて決議されたことを受けて、当該のれん未償却残高の全額121,810千円を当第2四半期連結累計期間に減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

(固定資産に係る重要な減損損失)に記載の通り、サービスセグメントにおいて、のれんの減損損失を計上したため、のれんの金額は減少しております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

前第1四半期連結会計期間に実施した USAVE Car & Truck Rentals Limited の企業結合について前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。当該見直しにより、主に有形固定資産に配分が行われ、のれんは4,500千NZドルから3,466千NZドルに減少しております。

なお、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書へ与える影響は軽微であります。